2019年11月1日
第125号
発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：椙山　広美
編集担当者：中井　規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◇◆連盟ニュース◆◇

今号の主な内容
◇支部学会での連盟活動報告

支部学会での連盟ブース活動報告

毎年、各支部学会の展示場の一角に連盟ブースを開設し、連盟の広報、加入促進を行っています。
今年の支部学会での連盟ブースでの活動報告を掲載します。

支部	開催日	開催地	開催場所	備考
北日本支部	10月5～6日	山形県	山形テルサ	
関甲信・首都圏支部	10月26～27日	東京都	秋葉原UDX	
近畿支部	10月26～27日	滋賀県	ピアザ淡海 ピアザホール	
中部圏支部	10月12～13日	岐阜県	長良川国際会議場	12月1日掲載予定
中四国支部	11月2～3日	島根県	島根県民会館	12月1日掲載予定
九州支部	11月2～3日	熊本県	熊本城ホール	12月1日掲載予定

令和元年度連盟　北日本ブロック活動報告

令和元年度日臨技北日本支部医学検査学会（第8回）
時の連盟活動について

去る10月5日（土）6日（日）に山形市の山形テルサおよび霞城セントラルにて令和元年度日臨技北日本支部医学検査学会（第8回）が開催され、盛会に終了いたしました。

学会中は会員に日技連の説明及び勧誘を行う良い機会であり連盟ブースを設置して、宮島よしふみ議員や椙山代表も参加しながら北日本の各道県連盟執行委員が法被姿でパンフレットの配布等で加入を呼びかけました。第３会場・第４会場・第２展示ブースへ行くためには必ず通過する通路であることから、学会主催側の配慮で各会場を巡る「スタンプラリー」の指定場所にもして頂き、人通りに恵まれてたくさんの会員に呼びかける事が出来ました。

また、５日に行われた「宮島よしふみ国政報告会」では宮島議員より活動内容が報告され、司会より連盟への加入紹介があり連盟パンフレットも手渡された。連盟ブロック会議では宮島議員・椙山代表はじめ日技連・連盟執行委員・日臨技・日臨技幹事が出席して行われ、宮島議員の近況報告や小川しんじ氏選挙総括報告及び今後の連盟活動について意見交換をいたしました。各県支部からは、「小川氏は臨床検査技師ではないため難しかった。」「会員へのアピールがうまくできない。若い会員の認知度が低かった。」「全県まんべんなく得票があり、宮島議員を上回った。」「地上イージスアショア問題で自民党が逆風になり、特に女性票が減ったと思われる。」「連盟入会は一部の施設だけで、技師長等上の者がその気にならなければ、会員数は増えない。早急な対策が必要。」「自民党議員の不祥事で投票に影響が出たかもしれない」「技師長クラスの連盟入会がまずは必要である。」「連盟入会を、以前のように連名でできるようにていただきたい。」「今回の小川氏の選挙は、日衛協がかなり頑張った。」「ホームページから、資料がダウンロードできるようにしていただきたい。」「連盟入会名簿、自民党入会名簿がリアルタイムに支部長に届くようにしてほしい。」「以前にも指摘したが、資料の数字が訂正されていない」等の意見が出された。その場で回答する内容もあったが、今後の活動に結び付く活発な時間であった。

北日本支部ブロック長　藤田秀文

令和元年度連盟　関甲信･首都圏支部ブロック活動報告

去る10月26日～27日東京秋葉原UDXで開催された首都圏・関甲信支部医学検査学会が開催され、機器展示場内の一角に連盟ブースを設置し、2日間連盟のPR活動に努めた。

初日、学会参加者受付を行なう学会参加者に、連盟のPR資料並びに宮島よしふみ議員国政報告会のビラを配布し、多くの参加者に受け取って頂きました。そうした中、受け取りを避けるように通り過ぎる参加者も居られたことから、まだまだ連盟の浸透に努めるべきと実感したが、用意した資料が1日目で配布できた。

なお、連盟ブースにおいては、次期学会担当の茨城県ブースとスタンプラリーのブースに挟まれていたことから、連盟で製作した「連盟PRビデオ」を常時、放映し、展示場等に訪れる参加者に見ていただくことが出来た。

また、宮島よしふみ国政報告会には、大勢が聴講され、特に学生さんが目立ちました。今後取り組みを実施している臨床検査技師教育の見直しの概要等については、熱心に聞き入っていました。

また、今支部学会にあわせて、連盟ブロック会議を開催しました。

ブロック会議は、連盟の執行委員のほか、都道府県技師会長さんもご参加いただきました。

初めに、宮島議員から開会に先立っての挨拶があり、夏の参議院議員選挙のお礼等が述べられ、首都圏・関甲信支部の1都8県から、参議院議員選挙の総括と連盟会員の加入促進の取り組み等が報告されました。

選挙総括の一部を紹介しますと、「県南施設で技師長が交替したこととも有り、末端まで浸透しなかった。」「小川しんじ候補は宮島議員より得票数を下げた、検査技師で無いことも影響したと考える。」「宮島議員については、集会を複数回実施できたが、小川しんじ候補は6月下旬に100人規模の1回のみだった」等の意見があった。

　また、連盟の入会促進については、「理事、学術部門長全員に入会していただくことが、会員の理解につながるのでは」「今後、研修会等でビデオ放映を行い加入への理解を求める。」「会費を3,000円に値上げしたのが、失策と思っている。」「一部理事が加入していないが加入の動議付けが難しい。」等の意見がありましたが、連盟8,000口、党員1,000名の確保に向けて、引き続き会員に訴えていく。との総括で会議を締めくくりました。

日技連事務局長　篠﨑隆男

令和元年度連盟　近畿支部ブロック活動報告

第59回日臨技近畿支部医学検査学会

2019.26・27　ピアザ淡海にて

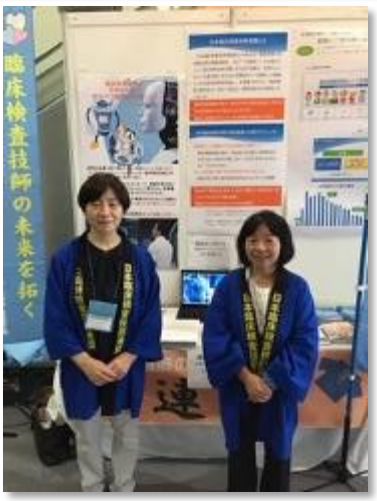
連盟ブースではDVDを放映しつつ、広報活動行いました。今回は配布中心で、新規加入には至りませんでしたが、加入を考えていた方々が「自動引き落としの手続きも一緒にします」と立ち寄っていかれ嬉しく思いました。

毎年受付付近に設置してもらえて、連盟ブースも定着した感じはありますが、こんなに多くの技師がいるのに会員はごくわずか、ほとんどの方は素通りで、私たちは毎年何のためにこの活動をしているのですか？皆さん他人事と思っているでしょう？と言いたくなります。

連盟企画として「臨床検査の未来のために」と題して、臨床検査技師から政治の世界に転身されました京都府向日市の安田守市長に講演をお願いしました。この企画は、「連盟のことを多くの会員に知ってもらうためには、ぜひ学会で」という思いから実現しました。臨床検査技師の経験もあり、連盟の役割について語っていただける安田市長にお願いしました。

講演では　医療介護の現状から始まり、臨床検査技師として医療政策にどう対応していくのか　現状をどう変えていきたいのか　臨床検査業界全体で同じ思いと意志をもって一歩を踏み出して！目標を実現すべく政治連盟の役割がそこにある！と、熱いエールをいただきました。

近畿ブロック　脇村小津江



連盟入会が簡単に行えます

①連盟ホームページの「入会案内」から

②「会員登録をする」をクリック

③情報を入力

④情報を登録する

口座番号が不明な場合は「※承諾書」を記載していただければ事務局で手続きいたします

※日本臨床検査技師連盟加入手続き及び個人情報使用承諾書